記者発表資料

平成２２年　３月１１日
東 北 地 方 整 備 局

入札監視委員会第二部会第４回定例会議の審議概要について

～抽出案件６件を審議、意見の具申・勧告はなし～

平成２１年度東北地方整備局入札監視委員会第二部会第４回定例会議が２月２３日（火）、東北地方整備局で開催されました。

定例報告では、平成２１年１０月１日～平成２１年１２月３１日までを対象とした事案（①工事、コンサルタント業務、役務の提供等・物品の製造等の総契約件数、②指名停止措置、③再度入札における一位不動状況、④低入札状況）の報告を行いました。

議事では、委員により抽出された案件６件の審議が行われ、委員からの意見の具申・勧告事項はありませんでした。

○審議概要は別紙のとおりです。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問 い 合 わ せ 先

国土交通省　東北地方整備局
仙台市青葉区花京院一丁目１番２０号　　TEL (022)716-0013（ダイヤルイン）

契 約 管 理 官　　加藤（かとう） 治儀（はるよし）（内線６２２１）

経理調達課課長補佐　　本間（ほんま） 和彦（かずひこ）（内線６５５４）

東北地方整備局　入札監視委員会（第二部会）審議概要

開催日及び場所		平成２２年　２月２３日（火）東北地方整備局会議室	
委員		部会長　三輪　佳久　（弁護士） 部会長代理　真野　明　（東北大学大学院工学研究科教授） 委員　貝山　道博　（山形大学人文学部教授）	
審議対象期間		平成２１年１０月　１日～平成２１年１２月３１日	
総抽出案件		総件数　６件	
工事	抽出案件	件数　３件	
	一般競争（WTO対象）	１件	
	一般競争（WTO対象外）	２件	
	工事希望型競争	０件	
	通常指名競争（港湾土木）	０件	
	通常指名競争（空港等土木）	０件	
	通常指名競争（港湾・空港等土木以外）	０件	
	随意契約	０件	
建設コンサルタント業務等		２件	
役務の提供等及び物品の製造等		１件	

委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり

委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし

抽 出 案 件　工 事　概 要 書

	工　事　名	入札・契約方式	工事場所	上段：契約金額 （単位：千円） 下段：入札経緯	応募 業者数	参　加 （指名） 業者数
1	ＧＰＳ波浪計測設備製作及び設置工事	一般競争 （ＷＴＯ対象）	青森県西岸南部沖、秋田県沖、山形県沖	957,600 １回目落札	3者	3者
2	石巻港雲雀野地区防波堤(南)消波工事	一般競争 （ＷＴＯ対象外）	石巻市西浜地区内	47,250 １回目落札	1者	1者
3	石巻港雲雀野地区防波堤(南)本体工事（その２）	一般競争 （ＷＴＯ対象外）	石巻市西浜地先ケーソンヤード構内	66,150 １回目落札	1者	1者

抽 出 案 件　建 設 コ ン サ ル タ ン ト 等　概 要 書

	業　務　名	入札・契約方式	履行場所	上段：契約金額 （単位：千円） 下段：入札経緯	応募 業者数	参　加 （指名） 業者数
4	久慈港海岸海岸保全施設長寿命化対策検討業務	簡易公募型プロポーザル方式	－	15,015 －	4者	1者
5	秋田港長周期波対策検討業務	簡易公募型プロポーザル方式	－	15,225 －	1者	1者

抽 出 案 件　役 務 の 提 供 等 ・ 物 品 の 製 造 等　概 要 書

	業　務　名	入札・契約方式	履行場所	上段：契約金額 （単位：千円） 下段：入札経緯	応募 業者数	参　加 （指名） 業者数
6	秋田港を利用した環日本海複合一貫輸送パイロット事業実施業務	企画競争	－	95,674 －	1者	1者

別　紙

NO. 1

	意見・質問	回　　答
1-1	定例報告 「対象期間における発注案件について」 ・特になし	
1-2	定例報告 「指名停止措置の運用状況等」 ・特になし	
1-3	定例報告 「工事種別ごとの再度入札における一位不動状況」 ・特になし	
1-4	定例報告 「工事種別ごとの低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況」 ・特になし	
2-1	審　　議 一般競争 「ＧＰＳ波浪計測設備製作及び設置工事」 ・落札者以外の２者の加算点が低くなっているは、何故でしょうか。 ・複雑な機械を設置していますが、将来改良等を行う場合、他の者は参入出来るのでしょうか。 ・ＷＴＯ対象工事ですが、これまで外国企業の参入実績はあったのでしょうか。	・施工体制確認型総合評価落札方式であり、施工体制の確認をした結果、品質確保の実効性及び施工体制確保の確実性において、確実に確保されるとの確認が出来なかったため、加算点が低くなっております。 ・他の者が参入出来ないということはありません。 ・当局港湾空港関係の発注においては、参入実績はありません。
2-2	審　　議 一般競争 「石巻港雲雀野地区防波堤(南)消波工事」 ・１者しか応札がなかった理由は何でしょうか。 　また、落札者が過去に受注している工事の入札参加者はどうだったのでしょうか。 ・他の工事においても技術者の配置が出来ず、１者しか参加していないという事例がありましたが、どのように考えていますか。	・参加可能者は１２者あり、２者にヒアリングしたところ、本工事の発注時に同種工事の施工実績がある技術者を配置することが出来なかったため、参加しなかったとの回答がありました。 　また、過去に受注した工事では２者が参加していました。 ・このような事例が続くようでしたら、競争性を確保するため、Ｃ等級の工事にＢ等級を加えることも検討する必要があるかと考えます。

	意見・質問	回　　答
2-3	審　　議 一般競争 「石巻港雲雀野地区防波堤(南)本体工事(その２)」	
	・工事の等級はＣ等級となっていますが、参加資格をＢ等級としている理由は何でしょうか。	・第一線級防波堤の異形ケーソンの製作であり、非常に重要な工事であることから、技量等も考慮してＢ等級としています。なお、Ｃ等級で同種工事の施工実績を有する者はおりませんでした。
	・１者しか入札に参加していない理由は消波工事と同じでしょうか。	・消波工事と同様で、技術者を配置できなかったと聞いております。
	・落札率が高い理由は何でしょうか。	・過去に同様の工事を発注しており、契約締結後に予定価格や積算内訳が公表されていること、また、積算基準も公表されておりますので、比較的容易に積算出来ることから、落札率が高くなったものと考えております。
2-4	審　　議 簡易公募型プロポーザル 「久慈港海岸海岸保全施設長寿命化対策検討業務」	
	・契約の相手方を特定するのに客観性は保たれているのですか。	・ガイドラインに基づき、評価項目や評価ウェートを設定し、評価にあたっては匿名の状態で複数の職員で行っております。また、特定テーマの設定、技術提案書の評価については、第三者委員会に諮った上で決定しています。
	・評価項目と配点は明示されているのでしょうか。	・業務説明書に明示しています。
	・現在、非特定の者に評価点数が伝わっておりませんが、民間企業がこのような業務を受注出来るよう競争力を付けていくこと、また整備局も民間企業を育てていかなければならないと思いますので、各者に評価内容を伝えることも必要ではないでしょうか。	・今後の検討課題と考えております。
2-5	審　　議 簡易公募型プロポーザル 「秋田港長周期波対策検討業務」	
	・参加表明を提出したのが財団法人１者だけであることについて、どのように考えているのでしょうか。	・秋田港で実施する長周期波対策は、全国でも初めてのケースであり、技術的にも高度であることから、結果として１者しか参加しなかったものと考えております。
	・表彰の項目以外の評価点が全て満点ですが、絶対評価を行っているのでしょうか。	・絶対評価で行っておりますが、管理技術者がこの分野に精通した方であり、特に優秀な技術提案がなされたため、このような評価になっております。

	意見・質問	回　　答
2-6	審　　議 企画競争 「秋田港を利用した環日本海複合一貫輸送パイロット事業実施業務」 ・平成１９年度に実証実験をした際も同じ者が受注したのでしょうか。 ・参加可能者は多数おりますが、１者しか参加しなかった理由は何でしょうか。 ・委託契約とした理由は何でしょうか。	 ・平成１９年度は違う者が受注しており、今回の者は参加しておりません。 ・秋田港を利用し、かつ、広域的に貨物を集荷する業務ができる者は限られてくるため、結果として１者しか参加しなかったものと考えております。 ・荷主との交渉により貨物の集荷・運搬経路等の条件が変わるため、事前に条件を明示出来ないことから、委託契約しております。
2-7	審　　議 「談合疑義事実の選定に関する基準について」 ・特になし	
	所感として 建設コンサルタント等業務について、手続きの透明性や公平性の確保に取り組まれていることは理解出来ますが、結果として公益法人１者の参加となっている事案が見受けられます。 民間企業の育成を図り、より一層競争性が高められるよう努めて頂きたいと思います。	